

二言語同時学習の可能性

A Possibility of Bi-language Simultaneous Learning

2015年10月31日(土) 14:00~16:00
愛知大学名古屋校舎 講義棟8階 L803教室
講師: 京都外国語大学教授 小野隆啓 氏



京都外国語大学では、英語を基軸とした二言語同時学習を目指す教育プログラム“Bi-language Simultaneous Learning EX (BSL-EX)”という独創的な授業が行われている。

英語ともう一つの言語を同時に学ぶという授業であり、「BSL EF」(英語・フランス語)、「BSL EG」(英語・ドイツ語)、「BSLES」(英語・スペイン語)、「BSLEC」(英語・中国語)、「BSLEP」(英語・ポルトガル語)、「BSLEI」(英語・イタリア語)の6科目が設定されているとのことである。

特徴的なのが、e-learning・インターネット・DVDなどのマルチメディアを活用できるCALL教室で、それぞれの言語を専門とする教員が1名ずつ計2名でチームティーチングを行うという点である。また、授業で取り上げられる言語を母語とする京都外国語大学に留学中の外国人留学生が、TAとして授業に出席し、日本人学生の学習支援をするとともに、留学生と日本人学生との交流も図るといった夢のような学習プログラムである。

この言語教育プログラムは2006年に文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」、いわゆる「特色GP」にも採択されており、このことも、いかにこの学習プログラムが画期的なものであるかを物語っている。

小野先生は、「BSL EF」(英語・フランス語)を例に、楽しい授業の一部を披露して下さった。ハリリー・ポッターの映画を学生に英語で見せながら、時折先生が画像を止めるのである。このストップした箇所には、実は英語の特徴的な表現や文法構造が含まれている。つまり小野先生が「ビビッ」ときた部分であり、その箇所についてどんな面白いことが隠れているかが、小野先生の具体的かつ明晰な説明により明らかになるのである。

同じことはもう一つの言語のフランス語でも行われる。フランス語の先生あるいは小野先生がハリリー・ポッターの映画を学生にフランス語で見せながら、特徴的な箇所が来ると画像を止め説明する。このストップする箇所が英語とフランス語で同じ場合もあれば異なる場合もある。

これにより、英語とフランス語の違いが、実用例が伴われた形で学生の頭にインプットされるのである。TAとして授業に参加しているそれぞれの言語の母語話者にも意見を求める。母語話者にとっても「言われてみると、改めてそうだ」と気づかされることもあり、また母語話者の留学生からも様々な例が出さ

れ、留学生と日本人学生の英語あるいはフランス語でのディスカッションへと発展する。

英語やフランス語の会話力を伸ばしたい学生はもちろんのこと、言語の構造に興味がある学生をも虜にするライブ感あふれる何ともアクティブな授業である。

そして、何よりも教えている小野先生がとても楽しそうなのである。「外国語の勉強って、なんて楽しいんだ」と魔法にかけられてしまうような魅力がある。しかし小野先生がポロッとこぼされたことば...

「DVDは半永久的と言ってますけど、違いますよ。熱で溶けて割れますよ」... そう、小野先生はそれだけこの授業に対して周到な準備をしていらっしゃるということだ。

このように、外国語を学ぶ面白さに改めて気づかせてくれる、実り多い講演であった。

(文責：北尾 泰幸)

